



75人の待機者がいる標津町の特別養護老人ホーム・標津はまなす苑

根室管内の特養ホーム

根室管内にある4カ所の特別養護老人ホーム（特養）への入所を希望する待機者が325人に達している。4施設の定員は合計248人だが、いずれも満床で、待機者の中には1、2年待ちの人もいる。しかし、政府は在宅介護重視の路線で、特養の新設や増設はなかなか認めておらず、各自治体も対策に決め手はなく、頭を抱えている。（山本倫子）

増えぬ定員 待機者 325人

福 祉

十一月末時点の根室管内の特養の待機者は、中標津町の中標津りんどう園（定員五十四人）が百四十人、標津町の標津はまなす苑（同五十八人）が七十五人、別海町の清翠園（同八十六人）が七十四人、根室市のはまなす園（同五十八人）が三十六人。羅臼町には特養がない。待機者の中には、一人で複数施設の申し込みをしている場合や老人保健施設に入所しながら空きを待っている場合も含んでいる。

国は「在宅」重視 1、2年待ちも

導入以来、特養などの施設は経費がかかるとして、従来の施設介護中心に変えて在宅福祉を推進している。このため、地元が特養の新設や増設を要望しても、なかなか認められない一方、仮に施設ができて入所者が増えれば、各自治体の介護保険料に跳ね返るのが実態だ。

入所希望者に比べて定員が圧倒的に少ない狭き門。多くの施設で一年に十人前後しか入所できないのが現状だが、空きが出て待機者の中から入所者を選ぶ方法も各施設で微妙に違う。標津はまなす苑は施設長や外部の民生委員などでつくる「入居優先度判定委員会」を開き、入所者を決定する。参考とするのは要介護度や精神状態などの項目を点数化し、待機者の中に要介護5の人は十六人もいる。別海町の清翠園は要介護1の入所者はいないが、待機者よりも五割加算しているという。別海町には同5は十八人いる。待機者の多い中標津町は「町として健康を維持してもらえない取り組みをこれから進めよう」と話すが、これといった対策はない。

暮らしのさいげん

入所希望者には定員が圧倒的に少ない狭き門。多くの施設で一年に十人前後しか入所できないのが現状だが、空きが出て待機者の中から入所者を選ぶ方法も各施設で微妙に違う。標津はまなす苑は施設長や外部の民生委員などでつくる「入居優先度判定委員会」を開き、入所者を決定する。参考とするのは要介護度や精神状態などの項目を点数化し、待機者の中に要介護5の人は十六人もいる。別海町の清翠園は要介護1の入所者はいないが、待機者よりも五割加算しているという。別海町には同5は十八人いる。待機者の多い中標津町は「町として健康を維持してもらえない取り組みをこれから進めよう」と話すが、これといった対策はない。